

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 24 年 8 月 23 日 (2012.8.23)

【公開番号】特開 2010-145863 (P2010-145863A)  
 【公開日】平成 22 年 7 月 1 日 (2010.7.1)  
 【年通号数】公開・登録公報 2010-026  
 【出願番号】特願 2008-324661 (P2008-324661)  
 【国際特許分類】

G 0 2 B 21/24 (2006.01)

C 1 2 M 1/34 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 21/24

C 1 2 M 1/34 B

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 5 日 (2012.7.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

試料を観察するための観察装置と、

試料を載置する載置台と、

前記観察装置によって試料を観察する観察位置まで前記載置台を移動させる駆動装置と

、  
鉛直方向に拡がる第 1 空間を密閉する筐体と  
を具える観察ユニットであって、

前記第 1 空間および第 2 空間が前記筐体に形成されており、

前記第 1 空間は、前記筐体の背面側に位置しており、

前記第 2 空間および前記載置台は、前記筐体の前面側に位置しており、

該第 1 空間内に駆動装置が配備されており、

前記観察装置は光学系と撮像系から構成され、

前記撮像系は、前記第 1 空間内に配置される一方、前記光学系は、前記載置台の下方に位置して前記筐体によって密閉された第 2 空間内に配置されており、

前記第 1 空間と載置台及び第 2 空間との間には、第 1 空間から載置台及び第 2 空間への熱の移動を妨げる衝立部材が介在し、

前記筐体のうち第 2 空間の上部を構成する上面壁には、前記観察位置から下方に向けて観察装置の光学系まで光を通す光透過部が形成されている、観察ユニット。

【請求項 2】

前記筐体のうち第 2 空間の上部を構成する上面壁と前記載置台との間には、断熱層が形成されている

請求項 1 に記載の観察ユニット。

【請求項 3】

前記断熱層の少なくとも一部が断熱部材によって構成されており、

前記光透過部は前記断熱部材を貫通して該断熱部材の表面に露出している

請求項 2 に記載の観察ユニット。

【請求項 4】

前記載置台は、前記観察位置と前記第 2 空間の上方位置から離脱した離脱位置との間で往復移動が可能であり、

該載置台の往復移動は、前記駆動装置によって実行される、

請求項 1 乃至請求項 3 の何れかに記載の観察ユニット。

【請求項 5】

前記載置台には、前記駆動装置の駆動力が伝達部材によって伝達され、

該載置台は、前記伝達部材への着脱が可能であり、

前記伝達部材には検知部が配備される一方、前記載置台には、検知部によって検知される被検知部が配備され、

被検知部は、該被検知部が検知部によって検知されたときに載置台に載置されている試料の中心が所定位置に合致するように配置されている、

請求項 1 乃至請求項 4 の何れかに記載の観察ユニット。